



URL: <http://www.nara-roushikyo.jp/>

奈良県老人福祉施設協議会

検索

奈良県老施協

# あおひかり

No.

33



2020年

発行所：奈良県老人福祉施設協議会 発行者：植田 誠 事務局：0744-29-0100

奈良県老施協  
マスコットキャラクター  
「いちなかちゃん」



馬見丘陵公園

## もくじ

- 「福祉とジェンダー」……………1
- 奈良県老人福祉施設協議会  
令和元年度事業の経過報告…2~4
- 第9回オープンセミナー  
(養護老人ホーム部会・軽費老人  
ホーム部会主管)……………5
- 第32回奈良県老人福祉施設  
職員研究会議(テーマ別研修  
委員会主管)……………6
- 施設の窓……………7
- プチっと講座……………8
- 表彰者紹介……………9
- 編集後記……………9

## 「福祉とジェンダー」

奈良県老人福祉施設協議会 副会長 秋吉 美由紀

私は、生まれてこの方、女性として生まれてよかったと思ったことはあまりない。逆に、男性であれば、ああもできた、こうもできたという思いの方が強かった。福祉の世界に、足を踏み入れてからも、あまり変わらなかった。それは、自分自身の努力不足と思い続けてきたが、そうでない部分もあったように思う。

福祉の業界は、もともと女性が多く働いており、女性の就業率や正職員の割合は、他業種に比べて、比較的多いほうであったように思う。しかし、私が、施設長になったころと比べて、現在の奈良県老施協の女性施設長の割合は、全体の約20.9%であり、当時とほとんど変わっていない。

ILOによると、2018年に世界の管理職に占める女性の割合は、27.1%、緩やかに上昇しているものの、職場での格差は大きい。日本は、12%と主要7か国(G7)で最下位。「女性活躍推進法」では、女性管理職比率を30%に増やすという目標が定められているが、

日本は、世界フォーラムが発表する、ジェンダー・ギャップ指数において、世界ランキングが、153か国中121位と世界的に見ても女性の活躍が遅れている。

なぜ、日本においては、女性の登用が進まないのか。それは、日本特有の歴史的な背景にも一因があるように思う。医学部不正入試問題に揺れた2018年度であったが、2019年度の入試結果は、女子合格率が大幅に増え、全体の合格率は男女で大きな差がないことがわかった。現在、企業におけるダイバシティ・マネジメントにみられる取り組みも徐々にではあるが進められている。

一般的に、多様性の受け入れは、福祉業界は進んでいると思われる。しかし、現実はどうだろう。女性の側の一部意識の低さや怠慢についての反省は、もっと声を上げなければいけないが、反省を含め、一歩ずつではあるが、着実に歩みを進めて行くことこそが、最も重要な課題であると思う。

## 奈良県老人福祉施設協議会 令和元年度事業の経過報告(4月～12月)

### 令和元年度事業の経過報告 (4月～12月)

#### 4月

- 生活相談員いとも(第26回) / 職種別研修委員会  
平成31年4月19日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、14名のご参加をいただきました。  
テーマ: 『記録・ケアプランについて』  
～介護職に伝えるために～  
助言者: 社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅 氏

#### 6月

- 介護福祉士ファーストステップ研修(1・2日目) / 職種別研修委員会  
令和元年6月13日(木)・14日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「高齢者の尊厳と介護倫理」  
講師: 特別養護老人ホームゆあほうむ 榛原 施設長 玉利 佳代子 氏
- 介護職員実践講座(第1回) / 職種別研修委員会  
令和元年6月21日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外71名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「介護に必要な制度の理解」  
講師: 養護老人ホーム梅寿荘 施設長 松岡 利和 氏  
テーマ: 「介護の基本(尊厳・倫理)」  
講師: 社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅 氏
- 生活相談員いとも(第27回) / 職種別研修委員会  
令和元年6月28日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、20名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「『働き方改革について』～みんなの工夫とアイデアのいいとこ取り～」  
助言者: 特別養護老人ホームゆあほうむ 榛原 施設長 玉利 佳代子 氏

#### 7月

- 奈良県内特別養護老人ホーム施設状況調査(調査 令和元年7月) / サービス向上委員会  
平成31年4月～6月現在の特別養護老人ホームの施設状況について調査を実施しました。  
調査内容: 入所者状況 / 入退所状況 / ショート利用状況 / 職員状況 等
- 施設長連絡会議(第1回) / 特別養護老人ホーム部会  
令和元年7月2日(火)、奈良県産業会館にて開催し、142名のご参加をいただきました。全国・近畿老協協の動向、委員会・部会活動の報告・検討等と共に、特養部会主管で介護職員等特定処遇改善加算等の行政説明を実施しました。



施設長連絡会議

- 介護福祉士ファーストステップ研修(3・4日目) / 職種別研修委員会  
令和元年7月11日(木)・12日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「行動への気づきと対応」  
講師: 養護老人ホーム梅寿荘 主任生活相談員 今井 康順 氏
- 栄養士研究会(第1回) / 職種別研修委員会  
令和元年7月22日(月)、県社会福祉総合センターにて開催し、41名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「食品の安心・安全確保のために」  
～法改正への取り組みと品質保証業務のご紹介～  
講師: 株式会社フルックス品質保証部 中尾 有希 氏

#### 8月

- 介護職員実践講座(第2回) / 職種別研修委員会  
令和元年8月2日(金)、県社会福祉総合センターで開催し、会員内外90名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「リスクマネジメントと介護職員の健康管理」  
講師: 特別養護老人ホーム水杜 施設長 植村 宏光 氏  
特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良 氏  
テーマ: 「チームケア・記録の書き方」  
講師: テンダーヒル御所わかば館 館長 鶴田 浩史 氏
- 生活相談員いとも(第28回) / 職種別研修委員会  
令和元年8月20日(火)、県社会福祉総合センターにて開催し、20名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「障がい者雇用の導入から現在に至るまで～1成功事例を基に考える～」  
助言者: なら南和障がい者就業・生活支援センターハロー-job 就業・生活支援員 吉川 拓良 氏  
特別養護老人ホームゆあほうむ 榛原 施設長 玉利 佳代子 氏



介護職員実践講座

- 介護福祉士ファーストステップ研修(5・6日目) / 職種別研修委員会  
令和元年8月22日(木)・23日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。  
テーマ: 「コミュニケーションの方法と応用」  
講師: 特別養護老人ホーム水杜 施設長 植村 宏光 氏  
テーマ: 「職場間連携の実践的展開」  
講師: 老人総合福祉施設 あくなみ苑 施設長 田中 将史 氏

#### 9月

- 機関紙「あおによし」の発行 / 情報発信委員会  
第32号 令和元年9月発行 発行部数 2308部  
配布先: 会員施設、各市町村行政、老人福祉センター、各市町村社協等806ヶ所

●介護福祉士ファーストステップ研修修了者フォローアップ研修  
／職種別研修委員会

令和元年9月6日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、9名のご参加をいただきました。

講師：老人総合福祉施設 あくなみ苑 施設長 田中 将史氏

●介護福祉士ファーストステップ研修（7日目）／  
職種別研修委員会

令和元年9月20日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。

テーマ：「家族や地域支援力活用と強化」

講師：社会福祉法人祥水園 北野 耕一氏

●事務職員研修／職種別研修委員会

令和元年9月27日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、42名のご参加をいただきました。

テーマ：「タイムマネジメントを学ぶ」  
～仕事を効率的に進めるための  
時間管理～



上垣 重浩氏

講師：株式会社インソース 講師 上垣 重浩氏

●地域密着型サービス連絡会（第1回）

令和元年9月30日（月）、県社会福祉総合センターにて開催し、11名のご参加をいただきました。サービスの質の向上を目指した意見交換や協議等、テーマに基づくグループワーク等を行いました。

10月

●令和2年度施策並び予算に関する要望書提出／  
サービス向上委員会

令和元年10月2日（水）に奈良県知事・奈良県議会議長、奈良市長・奈良市議会議長・奈良市議会厚生消防委員会委員長に対して令和2年度施策並びに予算に関する要望書を提出しました。

●介護職員実践講座（第3回）／職種別研修委員会

令和元年10月4日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外92名のご参加をいただきました。

テーマ：「高齢者の病気の理解」

講師：特別養護老人ホームハートランド五條 施設長 関本 太志氏

テーマ：「高齢者のからだと機能訓練」

講師：総合リハマネジメント研究所 所長 本村 清二氏

●施設長連絡会議（第2回）

令和元年10月9日（水）、リガーレ春日野にて開催し、94名のご参加をいただきました。行政説明・委員会・部会活動の報告・検討等と共に、テーマ別研修委員会主管で講演会を実施しました。

テーマ：『人の心のつかみ方、円滑な人間関係・組織作りを学ぶ』

講師：薬師寺執事長 大谷 徹英氏



大谷 徹英氏

●介護福祉士ファーストステップ研修（8・9日目）／  
職種別研修委員会

令和元年10月17日（木）・18日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。

テーマ：「観察・記録の的確性」

講師：特別養護老人ホーム国見苑 施設長 山本 茂雄氏

テーマ：「セーフティマネジメント」

講師：特別養護老人ホーム水社 施設長 植村 宏光氏

●テーマ別研修／テーマ別研修委員会

令和元年10月23日（水）、県社会福祉総合センターにて下記の内容で開催し、会員内外93名のご参加をいただきました。

テーマ：「ロコモティブシンドロームの  
予防と改善」

～人生100年時代の介護  
事業所の役割とは～

講師：NPO法人高齢者運動器疾患研究所代表理事

医療法人社団愛友会伊奈病院整形外科部長 石橋 英明氏



石橋 英明氏

●第1回施設介護支援専門員研修／職種別研修委員会

令和元年10月28日（月）、県社会福祉総合センターにて開催し、39名のご参加をいただきました。

テーマ：「ご利用者の施設における望む暮らしの実現に向けた  
介護職員と施設介護支援専門員の協働とは」

～互いの専門性を見つめ直し、共に力を合わせる～

進行：施設介護支援専門員研修ワーキングチーム



施設介護支援専門員研修

11月

●特別養護老人ホーム待機者状況調査（調査 令和元年11月）／  
サービス向上委員会

令和元年11月現在の特別養護老人ホーム待機者状況調査を実施しました。

調査内容：入所申込者数／平均入所申込期間／現在の生活場所／現在の入所希望の有無／他施設申込数 等

●介護職員実践講座（第4回）／職種別研修委員会

令和元年11月1日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外95名のご参加をいただきました。

テーマ：「認知症ケア」

講師：デイサービス リ・ターン 管理者 竹原 美幸氏

テーマ：「口腔ケア」

講師：特別養護老人ホームあじさい園 園長 松村 清子氏  
歯科衛生士2名

●生活相談員るいとも（第29回）／職種別研修委員会

令和元年11月1日（金）、県社会福祉総合センターにて開催し、22名のご参加をいただきました。

テーマ：「外国人就労受入後の経過について」

助言者：特別養護老人ホームゆめあほう棟原 施設長 玉利 佳代子氏

●サービスの質向上研修会／サービス向上委員会

令和元年11月8日(金)、かしはら万葉ホールにて開催し、63名のご参加をいただきました。

テーマ：「福祉・介護の仕事の魅力伝道師の養成と採用の工夫」

講師：ふくしえん社労士事務所代表、人材定着コンサルタント、

社会保険労務士 後藤 功太 氏



後藤 功太 氏

●「なら介護の日2019」啓発活動事業／情報発信委員会

令和元年11月10日(日)、奈良100年会館・中ホールにて開催された大会へ参加しました。

●介護福祉士ファーストステップ研修(10・11日目)／職種別研修委員会

令和元年11月14日(木)・15日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。

テーマ：「介護職員の健康・ストレス管理」  
「中堅職員としてのリーダーシップ」

講師：特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良 氏

●栄養士研究会(第2回)／職種別研修委員会

令和元年11月25日(月)、県社会福祉総合センターにて開催し、38名のご参加をいただきました。

テーマ：「高齢者の健康管理とプロバイオティクス」

講師：(株)ヤクルト本社 広報室 副参事 河見 浩司郎 氏

●地域密着型サービス連絡会(第2回)

令和元年11月26日(火)、県社会福祉総合センターにて講演会を実施し、会員内外より16名のご参加をいただきました。

テーマ：「地域密着型サービスの介護従事者に求められるもの」  
～若年認知症サポートセンターきすなやの活動を通して～

講師：一般社団法人SPSラボ若年認知症サポートセンターきすなや 代表 若野 達也 氏

介護付有料老人ホーム奈良ニッセイエデンの園

リハビリテーション室 係長 春田 貴史 氏

●看護職員研修／職種別研修委員会

令和元年11月28日(木)、県社会福祉総合センターにて開催し、30名のご参加をいただきました。

テーマ：「多職種の組織連携」

講師：社会医療法人美杉会 看護部

理事・教育部長 高須 久美子 氏



高須 久美子 氏

●第32回奈良県老人福祉施設職員研究会議／

テーマ別研修委員会 ※6ページ参照

令和元年12月9日(月)、THE KASHIHARAにて開催し、会員内外252名のご参加をいただきました。

テーマ：「令和改元 新しい時代の福祉を切り拓こう」

～福祉の原点を継承しつつ、更なる専門性の発揮へ～

内容：基調講演、5研究分科会発表

●生活相談員いとも(第30回)／職種別研修委員会

令和元年12月12日(木)、県社会福祉総合センターにて開催し、29名のご参加をいただきました。

テーマ：「ショートステイの荷物管理について」

助言者：特別養護老人ホームゆあほうむ椋原 施設長 玉利 佳代子 氏

●介護福祉士ファーストステップ研修(12・13日目)／職種別研修委員会

令和元年12月12日(木)・13日(金)、県社会福祉総合センターにて開催し、会員内外24名のご参加をいただきました。

テーマ：「問題解決のための思考法」「自職場課題分析」

講師：社会福祉法人カトリック聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅 氏



ファーストステップ研修閉校式

●生活相談員研修／職種別研修委員会

令和元年12月17日(火)、県社会福祉総合センターにて開催し、28名のご参加をいただきました。

テーマ：「介護事業所として地域とのつながりや役割を考える」

～奈良県山添村でのコミュニティナースの実践を通じて、病院から地域に飛び出すことでの気づき～

講師：山添村集落支援員、

コミュニティナース 荏原 優子 氏



荏原 優子 氏

12月

●第9回オープンセミナー／

養護老人ホーム部会・軽費老人ホーム部会 ※5ページ参照

令和元年12月3日(火)、県社会福祉総合センターで開催し、会員内外111名のご参加をいただきました。

テーマ：「養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)についての学びとわち」

～施設のことを知らない“ひと”がいる現実  
にチャレンジする9回目～

内容：基調報告、講演、実践報告及び意見交換



# 第9回オープンセミナー(養護老人ホーム部会・軽費老人ホーム部会主管)

軽費老人ホーム部会 部会長 矢追 義法

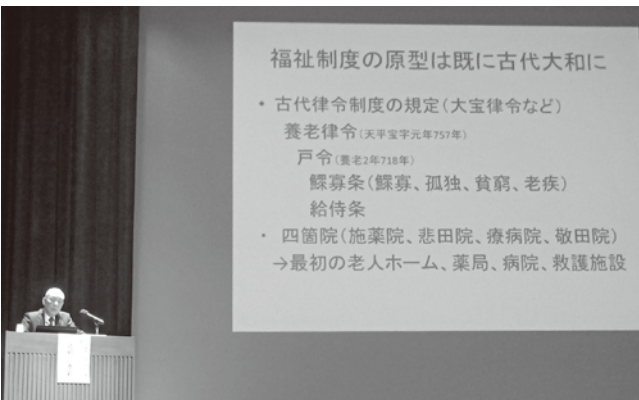


実践報告

本年度で9回目を迎えた「養護・軽費ケアハウスオープンセミナー」は、今回も行政、福祉・医療・介護、法務関係、地方議会等、多くの関係者のご参加をいただき開催いたしました。

本セミナーを始めた平成23年頃から、社会保障改革の影響や社会の様々な変化により介護の他に生活支援ニーズが増え、養護老人ホーム・軽費ケアハウスの需要の高まりがみられたものの、介護保険システムの陰で関係各機関や専門職に養護老人ホームや軽費ケアハウスのような施設が意外に知られていないことから、毎年様々な切り口で施設や制度のことを学ぶ機会として参りました。お陰様で関係各機関への理解、連携も広がり、サービス向上につながっています。

来年度は本セミナーも10回目となりますので、新しい時代に沿った生活支援施設を見据えるためにも、これまでの振り返りとこれからの在り方を探るべく、セミナーを続けられればと思っています。



基調報告

開催日：令和元年12月3日(火)  
会 場：県社会福祉総合センター  
参加者：111名  
テーマ：

「養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)についての学びとわかち」  
～施設のことを知らない“ひと”がいる現実にチャレンジする9回目～

内 容：基調報告／

「養護・軽費老人ホームの抱える課題を巡って」

奈良県老人福祉施設協会 顧問 辻村 泰範 氏

講 演①／

「ご存知ですか?養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)って!!」  
～施設を活用するという視点の学びとわかち～

養護老人ホーム部会委員 聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅 氏

講 演②／

「養護・軽費老人ホーム(ケアハウス)における現状及び課題と今後のあり方」  
～地域包括支援システムでの役割とは～

公益社団法人全国老人福祉施設協議会事業部

(制度・法令担当) 忽那 嘉和 氏

実践報告及び意見交換／

進 行：平沼察 副施設長・主任生活相談員 大垣 太志 氏

助言者：養護老人ホーム部会委員 聖ヨゼフ・ホーム

総合施設長 平岡 毅 氏

報告者：<養護> 榎原園 堺 浩平 氏

<軽費> 祥水園 松本 昇 氏

<ケアハウス> 万葉 本迫 一也 氏



忽那 嘉和 氏

## 第32回奈良県老人福祉施設職員研究会議（テーマ別研修委員会主管）

テーマ別研修委員会 委員長 松村 清子



開会式

師走のお忙しい時期にご出席いただきました多くの皆様、微に入り細に入り研究会議運営にご尽力賜りました皆様、心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。植田会長のご挨拶には始まり、ご活躍なさいました職員様への感謝状授与、ご来賓様からのご祝辞を頂戴いたしました。中澤秀一先生のご講演では、小さなことに忠実にがんばること、寄り沿うことは横からの力で同じ方向をみて気持ちを察すること、心からの笑顔がもとめられる高度な感情労働であるため同じ目的を持つ人達と話し合い支え合うこと、新しい価値創造の時代であるが、ご利用者に寄り沿うことは不変であるため共に粛々と継続していきましょう、と多くの大切なメッセージをいただきました。

午後は各分科会に分かれての発表と各分科会座長・助言者からのご指導や活発な意見交換会が行われました。本研究会議を通して、おひとりおひとりが仲間を大切に思われたい、一歩前に踏み出されたい、何らかの変化があったことをご期待申し上げ、ご報告と御礼とさせていただきます。

開催日：令和元年12月9日（月）

会 場：THE KASHIHARA

参加者：252名

テーマ：「令和改元 新しい時代の福祉を切り拓こう」

～福祉の原点を継承しつつ、更なる専門性の発揮へ～

内 容：基調講演

「グローブから介護（ケア）へ」

～置かれた場所で咲くために～

講 師：元東京読売巨人軍選手

東京基督教大学神学部国際キリスト

教福祉学科学科長 中澤 秀一氏



中澤 秀一氏

5研究分科会発表（23施設・28発表）

◇第1分科会「個別ケアの取り組み

（口腔ケア・食からのアプローチ）」

◇第2分科会「個別ケアの取り組み

（施設の強みを活かす）」

◇第3分科会「在宅生活を支える取り組み

（その人らしさに寄り添う介護）」

◇第4分科会「チャレンジ！！～私たちが取り組んで

いること～

（施設と地域が共に生きる取り組み：地域の夢にチャレンジ！！）」

◇第5分科会「チャレンジ！！～私たちが取り組んで

いること～

（時代に合わせた働き方で魅力ある職場づくりを考える）」



研究分科会

## 施設の窓

福祉・介護の仕事の魅力・施設職員インタビュー



社会福祉法人 宝山寺福祉事業団  
 養護老人ホーム 梅寿荘  
 主任支援員 中江 智美 さん

## 『社会福祉士の実習指導』

生駒にある老人福祉施設梅寿荘（養護と特養）では毎年数名の社会福祉士現場実習を受け入れています。

高齢者施設での実習としては特養でも実習できますが、社会福祉士の専門性を意識して、養護老人ホームで実習を受け入れています。実習指導の中心を担う社会福祉士の中江さんにお話を聞いてみました。

**Q1**：ご自身が社会福祉士の資格を取得したのは…

**A1**：『平成15年に梅寿荘は移転改築をおこない、それまでに生駒市には無かった養護老人ホームを新設しました。相談職として勤務するなかで、介護以外の様々な社会的支援の必要性を感じるように。経験や感覚による「ソーシャルワーク」に限界を感じ、平成18年に通信教育過程を受講し平成20年に資格取得しました。』

**Q1**：実習先としての養護老人ホームの特徴は

**A1**：『入所理由が介護ではない社会的な事情による方々がほとんどである為、行政との関わりも多く、諸手続きや終末期の後のことまで支援する事もあり、多方面のソーシャルワーク体験ができます。』

**Q1**：どんな実習を展開していますか

**A1**：『実習初期から中期ではコミュニケーション技術の習得・向上に重点を置いています。また、中期以降では他機関との連携や各種手続き等の場にも積極的に立ち会ってもらうようにしています。実習自体は養護老人ホームに軸足を置きますが、入所・在宅の垣根を越え、仲間の施設に協力してもらうことで、いろいろなご利用者やご家族との関わりを通じ、要援護者の真意を引き出し、課題の抽出や専門職としての支援が展開できることを実習のゴ

ルとしています。

毎年1～3名の実習生を資格取得後より現在まで受け入れしています。』

**Q1**：社会福祉士を目指す方へのアドバイスを…

**A1**：『アドバイスなんておこがましいです。これからの日本を考えると、益々地域福祉や個別的な福祉ニーズが高まると思われます。枠にとられない福祉を展開できる力を互いに培い、社会福祉の専門職として一緒に頑張りましょう。』



# プチっと講座

リハビリテーションの一種に「音楽療法」というものがあります。

音楽を聴いたり歌ったり、楽器を演奏したりすることで、脳に刺激を与え、健康増進やリラクゼーションに効果を発揮するものとして、近年注目されています。

認知症の高齢者に与える影響としては次のことが考えられます。

## ①脳の活性化

メロディやリズムに体を揺らし、歌詞を思い出し、大きな声を出す等、音楽を通して脳が活性化され、良い刺激となります。

## ②リラックスやストレス軽減

心地よいメロディが、認知症状により引き起こされる不安・緊張をなだめる効果が期待されます。

## ③記憶の回想

仕事に就いていた頃に聴いた歌、子どもらと一緒に口ずさんだメロディ等、元気だったかつての自分の姿を思い出し、活力を蘇らせてくれます。

## ④気持ちの表現

大声で歌い、楽器・手拍子を鳴らすことで、言葉が不自由となり、表現できなかった自身の気持ち、鬱屈した気持ちといった「心の叫び」を発散することができます。

社会福祉法人中川会では、毎月1回、ボランティアの方々による演奏会や、ミュージックサークルを開催しています。

先日行ったクリスマスパーティでは、高齢者、障がいをお持ちの方が一緒になってハンドベルを演奏していただきました。人前での演奏、発表が自信となり、リハビリテーションとしてより良い効果をもたらすものと考えています。

日常生活の中に音楽を取り入れ、一緒に歌ったり、一緒に楽器・手拍子を鳴らしたりと、専門的な音楽「療法」でなくとも、「音を楽しむ」という観点で、有効に音楽を活用していければと思います。



社会福祉法人中川会  
ル・エンゲージなかがわ3番館  
杉分 章良



令和元年度  
全国老人福祉施設研究会議（愛媛会議）

分科会実践研究発表における最優秀賞受賞  
おめでとうございます！

令和元年10月29日(火)～30日(水)に開催されました令和元年度全国老人福祉施設研究会議（愛媛会議）分科会での実践研究発表におかれまして、奈良県施設職員さんが最優秀賞を受賞されました。誠にありがとうございます。

受賞名

最優秀賞

分科会

第1分科会

『伴走型介護の追求－QOL向上に資するケアの実践－』  
分散会③（自立支援の実践②）

施設名

大宇陀特別養護老人ホームラガール

受賞者名

廣瀬 晴香 さん

発表テーマ

「自立排泄に向けて」

～いつまでも気持ち良く排泄する為に～

編 集 後 記

「あおによし」発刊に際し、原稿作成等ご協力を賜りました関係各位の皆様には、日頃のお仕事がお忙しい中でのご協力に改めて感謝申し上げます。

福祉には継続の視点が必要と考えます。今年度も老施協として各部会・専門委員会による様々な取り組みが行われ、オープンセミナーや研究会議等質の高い学びの機会が創出されています。その他にも認知症高齢者支援等、専門職としての様々な取り組みは今後も継続します。様々な事情を抱えておられる方々に対しては、多様な支援を組み合わせる必要があり、専門職同士の連携も求められます。また、実習等次代を担う人材の育成も急務と言えます。このような中でも、情報発信委員会として、老施協活動に関わる皆様、施設を利用される方々、事業所で働く多くの専門職の方々にとって、笑顔で過ごすことが出来る情報を発信できるよう新年度も進めて参ります。

情報発信委員会 副委員長 林 康樹

